

水資源の責任ある管理と利用へのコミットメント

コカ・コーラ ボトラーズジャパンは、水資源の責任ある管理と利用（ウォーター・スチュワードシップ）に関する国際的な AWS 規格の運用を通じて、当社工場とその敷地内として定義された物理的範囲に対して、5つの主要なアウトカム目標を達成するために必要なリソースの配分、計画の策定、進捗の管理、関係者への開示に責任をもって取り組みます。

5つの主要なアウトカム目標

1. 適切な水資源ガバナンス
2. 持続可能な水収支
3. 適正な水質
4. 水資源に関連する重要区域の保全
5. 工場従業員への安全な水と衛生設備、衛生環境の提供 (WASH)

当社は、水資源管理や計画の策定を通じて、AWS 規格を効果的に運用するために、必要な組織体制を構築します。ステークホルダーとはオープンで透明性のある方法で連携し、実施した計画の進捗状況を報告するとともに、重要な水管理情報を適切に開示いたします。また、公的機関と連携して、流域において持続可能な水関連の計画や方針の支援を行います。

AWS (Alliance for Water Stewardship): 企業、NGO などで構成される水のサステイナビリティを推進するグローバルな機関。AWS は工場単位での集水域における持続的な水管理に対する認証制度の運用を通じて、地域の持続的で責任ある水資源管理を目指しています。

2024年8月13日

コカ・コーラ ボトラーズジャパン株式会社
執行役員 最高 SCM 責任者
兼 最高サステイナビリティ責任者
兼 SCM 本部長

アンドリュー・フェレット


